

筑波大学新聞

第257号

編集責任 筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

総合科目 新編成へ向け議論白熱
バスケット 接戦制し3連覇達成
柔道 福見貫禄のオール一本勝ち
IOC会長に名誉博士号
スポーツ 30周年記念企画を開催
自然学類記念誌を作成

7 7 6 5 5 2

特集 4
着る・味わう——
筑波大発オリジナルグッズ

おことわり
今月号は8面構成で発行しました

筑波大学出版会 研究成果を発信 設置、来年度中に

研究者の出版機会の確保▽
教科書刊行による教育水準
及び体系的教育の確保▽出
版会設立と著作物刊行によ
る本学の存在感のアピール
などが挙げられる。

出版会については、人文
社会科学研究科の教員が中
心となり、設立のための検
討をしてきた。02年に有志
懇談会、04年に筑波大学出
版部門設立準備委員会を設
立、学内アンケートを実施
した。しかし、理系の研究
者は学術誌への論文掲載と
いった業績発表の手段もあ
ることから、大学全体の
支持は得られなかった。

出版不況といわれる現状
において、出版会設立とそ
の運営に必要な資金、場所
専任職員の確保には大学に
よる援助が不可欠。法人化
後の厳しい財政状況の中、
出版会設立の実現には全学
的な合意が必要となる。

吉武副学長は「出版会設
立と出版物の発行は、大学
における研究の質の高さを
示すものだ。大学による負
担の上限を決めた上で、学
術的価値のある本を出す
出版していきたくて話した。

硬式野球部

10年振りに神宮進出

首都大学秋季リーグ

東海大下し、リーグV

主戦・坪井が三冠獲得



日体大戦で好投する坪井（9月23日、等々力球場）

首都大学野球秋季リーグの最終試合が10月23日、平塚球場（神奈川県平塚市）で行われ、本学硬式野球部が6-3で春季の王者・東海大を破り、勝ち点を5として、1996年秋以来10年ぶり4度目となるリーグ優勝に輝いた。

本学はここ数年、5位など低迷していた。「最終節まで勝ち点を4つ取り、東海大への挑戦権を得た」。今年で就任6年目になる川村卓監督（体育・講師）は開幕前、そう話していた。その言葉通り、最終節まで各節とも3戦に及ぶ

粘りの野球を続けてきた。全日程を終了し、15試合で10勝4敗1分け。第2節・日本体育大との2戦目は延長11回まで1点を争い引き分けに持ち込んだ。川村監督は「この試合で手応えをつかんだ」と話した。

投打冴えた全員野球

「大きい当たりは狙わず、ゴロでもしっかり振るバッティング」を掲げた川村監督は今季、打撃を練習の中心に据えた。その結果、チーム打率は春季の2割1分から、2割7分へと上昇。数字が増えただけではない。今季は本塁打ゼロ。「つなぐ、打線」でそれぞれ

自分の役割を果たした。投手陣は先発・坪井が、中一日で登板し、粘投を続けた。坪井が本調子ではない時には、捕手・日高の好リードで相手打線の的を絞らせなかった。

守備では、遊撃手に真木宏（同3年）が入り、センターラインが強化され、堅

実な守備体系ができた。最終戦では2併殺でピンチをしのいだ。川村監督は「優勝の瞬間は実感がなかった。でも一つひとつ試合を積み重ねた結果だ」と振り返った。

首都大学野球連盟代表となった本学は、第37回明治神宮野球大会出場をかけて10月30日から5大学で戦う第2回関東地区大学野球選手権大会に出場した。

「自分たちのやってきた野球を信じて戦いたい（川村監督）と臨んだ第1戦目は、惜しくも国際武道大に敗れた。しかし、それ以降の敗者復活戦では、勢いを取り戻し、創価大などに3連勝。神宮行きの切符を手にした。神宮大会は11月14日にかけて行われる。

アスベスト除去工事

体芸棟をリニューアル

トイレ改修、冷暖房も

アスベスト除去工事に合わせて、体芸中央棟、第一学群E棟で耐震や内装などを改修する全面的なリニューアル工事が始まった。体芸中央棟の工事は9月19日に着手し、2007年3月30日完成を目指す。筑波キャンパスの校舎を全面リニューアルする工事は今年度、アスベスト除去

工事は体芸中央棟の全面で行い、耐震、内装などのリニューアル工事は主に芸術専門学群が使用する西側のみ行う。工費は前年度補正予算でまかなう。主に体育専門学群が使用する東側や筑波キャンパスで老朽している他の建物のリニューアル工事は次年度以降に行う見通しだ。

体芸中央棟の改修案は施設部と「体芸中央棟設計・利用者合同ワーキンググループ（WG）」（代表者＝西川潔・芸術専門学群長



色づいた木々も葉を落とし始めた（春日4丁目）
（撮影・関田航＝体育専門学群）

岩崎学長を再任

新たな任期制を適用

学長選考会議（議長＝古賀正一・市川学園理事長）は10月13日、岩崎洋一学長の再任審査を行った。投票の結果、全会一致で2年間の再任を決めた。岩崎学長の任期は04年4月から07年3月までの3年間だった。同会議では、筑波大学における学長選考のあり方について検討していた。

03年に岩崎学長を選出した際には、現在の任期制度

が定められていなかったとして、「今回の再任審査では、意向調査を行うべきではないのか」という意見もあった。ある教員は「学長を再任する際には、信任投票を行うことで学内の結束を固めて欲しい」と話した。

学長選考会議には、教員から185人の署名を集めた要望書も出されていた。同会議はこれらの意見を踏まえ、「今回の決定にあたり、学長のリーダーシップの下、全構成員が一致協力し、本学がさらに発展することを望む」と表明した。

筑波の孔

「神の思召しで三枚の硬貨」。中世ヨーロッパでは、酒に酔うと市民に罰金を科した。酔ったまま法廷に立つ原告や証人を見かね、国王が「禁酒令」を出した▼

日本では奈良時代に、酒の製法が確立した。19世紀半ば、フランス人細菌学者が香りや風味に支障をきたさない「低温殺菌法」を発見した。日本では室町時代から「火入れ」という名で行われており、世界を驚かした▼長く愛されてきた酒が今人々を脅かしている。02年6月、道路交通法が改正された。酒酔い運転は懲役刑が2年から3年へ、罰金刑は10万円以下から50万円以下となった▼新潟県見附市では先月、酒酔い運転をしたら、事故の程度を問わず懲戒免職という規定を設けた。今まで、職員の懲戒処分規定はなかった。一般企業でも、厳罰化は進む。社員が飲酒運転をすれば即解雇とした会社も出た。「一杯べらいならはもう許されない▼本学も意識が変わってきている。04年から、やどかり祭でアルコール販売を規制した。トラブル防止のため大学からの要請があった。今年の学園祭でも要請が出た。学生たちで話し合い、規制はかたづけず、販売時の年齢確認を徹底した▼飲酒運転事故の被害者を想うと、厳罰化は仕方ない。だが再び、見かねた国王が「禁酒令」を出さないことを願う。

反射鏡

恩師からの手紙 この10年間を思う

水田武人(日誌2年)

今夏、二十になった。その日、実家の郵便受けの中にそれはあった。八〇田切手が貼られた封筒。送り手は小学校4年時の担任小林先生。宛名は10年後の自分。早速封を開ける。中には一枚の写真・しおり・二枚の手紙・カバの絵が入っていた。手紙を読み進める。小林先生の手紙。約束の二十歳が来た事を告げ、激励の言葉が書き連ねてある。懐かしい。二十歳に「一寸先は闇」であり、10年もの歳月は大きく人を

変えるものだと感じた。しかし、ただ一つ10年前の自分と変わらないものがあつた。字のきたなさである。生来の悪筆はもう直らないなと苦笑した。手紙の最後には、「これからはもう二十からの10年間もまた、大変な年になるだろう。味も込めて。結びはもちろ

ん「これからもガンバレ」改めて、小林先生の粋な計らいに感謝している。先生への返書をいま四苦八苦しなごらしたためている。字が少しは綺麗になったのを見て、先生を感心させる事が当面の目標だ。

内定後の不安 鍋を囲み共有

神野怜志(社会学4年)

「鍋やらない？」10月下旬、同学年の友人からメールが来た。今更、それほど親しくなかったが、気晴らしに、と友人宅へ向かった。他の友人も来ており、男5人での鍋パーティーが始まった。

2人の母の贈り物 寂しい秋も暖かく

伊地知則子(日誌4年)

街路樹が色づき始めてそのカラフルな華と、すっかりと高い空の青さのコントラストが映える景色に「瞬間の至福を感じたりします。そんなときにふと思いつくひとコマが、初めてくは

先立って、久しぶりにスペイン料理を作ってみました。理由はスペインのお母さんからお手紙をもらったから。留学時のホストマザーで、「リナン」を体現したような、大らかで愛情豊かなお母さんは、私が理解するまでいつまでも側に

感じている。自分も残りの大学生活を無駄にはほけない、と改めて思った。あの鍋パーティーの日、自分の体と共に、心までも温まった気がした。



今月のテーマ
心温まる話

不安はまたある。「自分が戻すのは容易ではない。友人は言った。みんな大き

く領いた。「これで本当に葉。ほっとしたのを感じ出

に検査や医療機関の受診を通じて高脂血症、高血

私にはタシケント国立東洋学部の3年間日本語を勉強していた。4年生

日本に来て一番びっくりしたのは自転車が町全体にあふれていることだ

どんなお願いをしても助けてくれた日本人はいない。嫌いなものも好きにな

るようになったのだ。大いえたという言葉を知らなかった。例えば、食べ物の中で分らない納豆を

筑波時評

現代の疾病構造は生活習慣の欧米化(過食、高脂肪食、高単糖質食、運動不足)と共に著しく変化している。心筋梗塞や脳卒中などの循環器疾患とその背後にある糖尿病の重要性が急速に増加

メタボリックシンドローム(なかでも動脈硬化をおこしやすい内臓脂肪蓄積型肥満・内臓肥満)とともに高血圧、高血糖、高脂血症(高

循環器疾患および糖尿病発症予防の両面から期待されている。

厚生労働省では生活習慣病を予防するための「健康日本21」を実施して、運動習慣の是正や肥満者の減少を目指してきた。しかし、その中間評価では

内臓肥満の基準であるウエスト径(男性85センチ以上、女性90センチ以上)が必須項目として取り上げられている。内臓肥満の他に高脂血症(中性脂肪が150以上ある)は低

検査や医療機関の受診を通じて高脂血症、高血

私にはタシケント国立東洋学部の3年間日本語を勉強していた。4年生

日本に来て一番びっくりしたのは自転車が町全体にあふれていることだ

どんなお願いをしても助けてくれた日本人はいない。嫌いなものも好きにな

メタボリックシンドローム(なかでも動脈硬化をおこしやすい内臓脂肪蓄積型肥満・内臓肥満)とともに高血圧、高血糖、高脂血症(高

循環器疾患および糖尿病発症予防の両面から期待されている。

厚生労働省では生活習慣病を予防するための「健康日本21」を実施して、運動習慣の是正や肥満者の減少を目指してきた。しかし、その中間評価では

内臓肥満の基準であるウエスト径(男性85センチ以上、女性90センチ以上)が必須項目として取り上げられている。内臓肥満の他に高脂血症(中性脂肪が150以上ある)は低

検査や医療機関の受診を通じて高脂血症、高血

私にはタシケント国立東洋学部の3年間日本語を勉強していた。4年生

日本に来て一番びっくりしたのは自転車が町全体にあふれていることだ

どんなお願いをしても助けてくれた日本人はいない。嫌いなものも好きにな

メタボリックシンドローム(なかでも動脈硬化をおこしやすい内臓脂肪蓄積型肥満・内臓肥満)とともに高血圧、高血糖、高脂血症(高

循環器疾患および糖尿病発症予防の両面から期待されている。

厚生労働省では生活習慣病を予防するための「健康日本21」を実施して、運動習慣の是正や肥満者の減少を目指してきた。しかし、その中間評価では

内臓肥満の基準であるウエスト径(男性85センチ以上、女性90センチ以上)が必須項目として取り上げられている。内臓肥満の他に高脂血症(中性脂肪が150以上ある)は低

検査や医療機関の受診を通じて高脂血症、高血

私にはタシケント国立東洋学部の3年間日本語を勉強していた。4年生

日本に来て一番びっくりしたのは自転車が町全体にあふれていることだ

どんなお願いをしても助けてくれた日本人はいない。嫌いなものも好きにな

ウエスト周囲径
≥85(男) ≥90(女)

上記に加え以下のうち 2項目以上

①脂質代謝異常
高トリグリセリド血症 ≥150mg/dl
かつ/または
低HDLコレステロール血症 < 40mg/dl

②血圧
収縮期血圧 ≥130mmHg かつ/または
拡張期血圧 ≥85mmHg

③空腹時高血糖 ≥110mg/dl

日本内科学会総会発表8学会合同ガイドライン (102回内科学会総会,2005)

メタボリックシンドロームの診断条件

糖尿病発症は5-10倍 肥満の是正などが基本



山田 信博

治療は、原因となる生活習慣を改善したり、肥満を是正することが基本である。適切な指導で

足首を骨折し松葉杖を使わなければならなくなっ

本当につくばの生活は、これからの人生のために勉強になった。つくばに来る前の「私」と今

「私」が違ってきた。日本、ありがとう。比較文化学類4年

ここで心筋梗塞、脳卒中や糖尿病を生じやすいハ

拡張期血圧が85以上、高血糖(空腹時血糖が110以上)のいずれか二つを持つ場合をメタボリックシンドロームとしている。各々の基準値

かつ簡便にハイリスク者を抽出できるようにになった。医療機関で採血や血

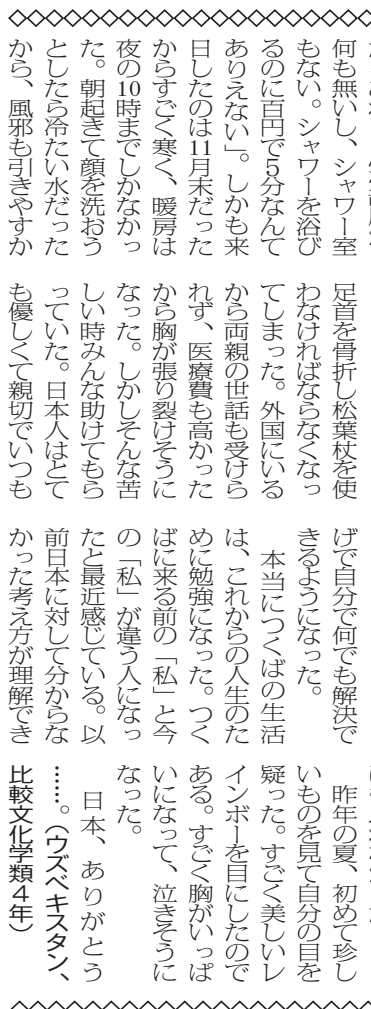
検査や医療機関の受診を通じて高脂血症、高血

私にはタシケント国立東洋学部の3年間日本語を勉強していた。4年生

日本に来て一番びっくりしたのは自転車が町全体にあふれていることだ

どんなお願いをしても助けてくれた日本人はいない。嫌いなものも好きにな

るようになったのだ。大いえたという言葉を知らなかった。例えば、食べ物の中で分らない納豆を



トラブルを通じて成長

「神様のおかげで日本に連れて来られたようね」。来る前には全然夢にも思わなかった。昨年の夏、初めて珍

着る・味わう 筑波大学発 オリジナルグッズ

特産品使った「桐飴」

少子化や大学法人化の流れの中で、多くの大学が知名度アップのため、大学オリジナルグッズの開発・販売に力を入れている。地域性を生かした最先端の研究成果を形にしたもので、内容はさまざま。本学でも紫峰会を中心にグッズが制作されてきた。本学のオリジナルグッズと、それにかかる想いを追った。(本紙・鈴木真理、藤井沙織) 小笹諒介(体育専門学群)

後援会)が販売しているのが「筑波大学桐飴」だ。ブルーベリーを本学の校章「五三の桐」に見立て、細工に練り込んだ。本学発ブランド「UTコレクション」の一押し商品で、昨年は小(10粒・240円)が1500袋、大(35粒・735円)が800袋売れた。

「UTコレクション」を語るも売れるはずだと言っている。地域性があり、つづきは市の特産品に」と話している。北澤さんが理想とするのは「ネット販売に加え、欧米の街では、市民が大学のネームの入ったTシャツを着ており、大学を中心に街が形成されている。本学がつくは市のシンボルになれば、ファンも増える」ともUTコレクションの

特徴だ。学生のボランティアまで完璧でなければならぬと話す。苦勞する分、自分分の作ったグッズを持っていく人を見かけると、握手したくなるほど嬉しい」と企画室での検討を経て、商品化される。

視点

大学生協のない本学では、紫峰会が1988年に課外活動支援のため校章入りキーホルダーを制作したのをきっかけに、大学オリジナルグッズが制作されてきた。UTコレクションだけで30種類以上のグッズがある。しかし、これまで「筑波大の名物」といえるものはなかったのが実状だ。たとえば、金沢大は輪島塗、神戸大は「神戸大学ビーフ」が有名になっている。

「筑波大の名物」作り 学内に販売用店舗を 販売時期は未定だが、同センターでは栽培されたサツマイモ、ジャガイモなどの農作物を使用してアイスクリームをシリーズ化するなどを検討している。センター産の野菜を漬けた物にして、「UTコレクション」のアイスなどが知名度を上げつつある。だが、供や広報といった支援が必要だ。

UTコレクション

本学の栽培技術を市民に広める目的で、公開講座「ブルーベリー栽培」は1976年に開かれた。記念品として贈られたブルーベリーの苗を、参加者の一人、鈴木太美雄さんは熱心に栽培。現在では、その苗木が見事に成長し、つくは市は特産品としてブルーベリー事業を



(左) 雙峰祭で出店したUTショップには、多くの人々が訪れた (右) 筑波大学桐飴

農林技術センターでは、1年を通して野菜、果物イモ類などの収穫物の販売を行っている。「センターの特色を生かして、何か加工品を作ろう」と専門職員岡野勉さんは昨年12月、「農林技術センター発黒米アイス、赤米アイス」の販売を企画した。

安心・安全なアイス

「筑波大と農林技術センター」をPRし、もっと市民に利用してもらいたい」と今年の学園祭では岡野さんと食品工学を研究している北村豊助教授(生命産業)の研究室との共同で新たにミルク味を150個販売した。加工は同センター内の乳製品加工室で行った。1個100円、200円。学園祭初日に売り切れた。製造から販売まで独自に行えるようになり、他の加工品への応用にもつながると岡野さんは話す。

卒業生からの手紙

多くの学生が部活の仲間単位で生活することが多い体育専門学群の中、入学直後に蹴球部を辞めた私は、毎日張りのない生活を送っていました。そんな私が出会ったのがストリートダンスでした。学園祭で踊っているのを見てすぐにサークルに入ったのですが、やり始めてからはほとんどダンスにのめりこんでいました。

に恵まれ、私はダンスコンテストで賞をいただいたり、東京都で開催されるイベントにゲストダンサーとして呼んでいただいたりする機会が増えました。そうした活動の中で、段々とダンサーという



「高性能で夢のあるスポーツウェアを作って、アシックスやミズノに並ぶスポーツブランドに」。本学は「UVでは、一般の人に向けて

「バレー」を超えたウェア

たUVブランド商品の開発・販売に力を入れている。TUVブランドとして商品を作り始めたのは昨年からの。それまでは「東西インカレ」などのイベント限定でオリジナルグッズを販売していた。今年NPO法人になり、経済的に自活できること、「つくは」が一つの地域として確立されることを目指しブランドを立ち上げた。



(左) 乳製品加工室でアイスを製造する北村研究室のメンバー (右) 黒米アイス

多様な意見を認めるところが多様性を認めることの大

一生懸命になれるダンス

といつこの大切さも学びました。幹部をやったことで、多くの人間をまとめる立場に立つことができたのもいい経験になったと思います。そのような仲間

4年間というリミットのついた学生生活の中、学業でもいい、サークルでもいい、何でもいっすから、自分が打ち込めることを見つけていくことが、その後のグッドライフを送ることに繋がると、一生懸命になれること



阿知和真吾さん

「Real Jump」——本当にやりたいことという意味を持つサークルで学んだことや、みんなと過ごした思い出が、今の自分を後押ししてくれています。

関東女子学生リーグ戦

接戦制し、3連覇達成

拓大、日体大を振り切り優勝

最優秀選手賞に櫻田

バスケット

関東の大学一を争う関東女子学生バスケットボール1部リーグ戦が9月2日から10月22日にかけて開催された。本学は11勝3敗、勝ち点25で優勝した。本学がリーグで優勝するのは3年連続10回目。

大会前半、本学は順調に勝ち進み5連勝した。しかし9月17日の対早大第2戦、本学のシュートが思うように決まらず敗れた。翌週は拓殖大との、同率首位同士の対戦となった。第1戦序盤、本学は早大戦の悪い流れを引きずり、シュートが決まらず、第1ピリオドを13-21で終える。しかし試合中盤、櫻田佳恵



拓大戦でシュートを決める鈴木 (埼玉県立体育館で)

本学は単独首位のまま2位日体大との最終戦を迎えた。第1戦序盤、本学は思うように点が取れなかった。「ボールを積極的に取りに行け」と、内山治樹監督(体育・助教授)が声を掛ける。近藤啓子(同4年)で拓殖大のディフェンスをかき乱す。前半を36-29で終了。その後も追いつくが拓殖大を振り切り、67-63で勝利。流れを取り戻した本学は翌日の第2戦も終始リードを保ち、91-68で勝利。単独首位に躍り出た。

「昨年の4年生レギュラー4人が抜けた。このメンバーでの勝利は大きい。一気個人賞は次の通り。▽最優秀選手賞 櫻田佳恵▽優秀選手賞 有明葵衣▽最優秀監督賞 内山治樹」

世界バレー

プエルトリコ代表が来筑

世界バレーの開催にあたり、プエルトリコの女子ナショナルチーム21人が10月23日から29日にかけて本学で事前キャンプを行った。エキシビジョンマッチとして、10月28日には球技体育館で本学女子バレーボール部と対戦した。本学はスト



「世界」を相手に熱戦を繰り広げた

リート負けしたものの、プエルトリコ代表との白熱した戦いに、学生や地域住民など200人近い来場者が見入った。

試合では、第1セット、プエルトリコ代表の高さを生かしたブロックにより19-2と離されたが、プエルトリコ代表のミスもあり6連続得点を決め、24-23で

秋季リーグ 男子2位、女子3位

秋季関東バレーボールリーグ戦が、男子は9月30日から10月29日まで、日本大学健康科学部記念体育館(横浜)で行われた。女子は9月23日から10月22日まで、青山学院大学記念館(東京・渋谷)で行われた。男子は6勝4敗で2位、女子は6勝4敗で3位に終わった。

女子決勝リーグ初戦、日本文学大と嘉悦大に3-0のストレート勝ちで連勝したが、迎えた3日目、再び日本大と対戦し2-3で敗

ない分、平面の動きでかき乱す」と有明は話す。

秋田経法大高時代は、3年までセンターとして活躍した。高校2年のウインターズカップでは、インターハイ優勝16回を誇る強豪、札幌山の手高

全日本学生体重別選手権

福見、貫禄のオール一本勝ち

佐藤ら5人が準優勝

柔道

各階級の学生日本一を争う全日本学生柔道体重別選手権が10月14-15日にか



福見は最後まで冷静だった (日本武道館で)

て日本武道館(東京・千代田区)で開催され、本学からは19人が出場した。48キロ級で福見友子(体専3年)が全試合一本勝ちで2連覇

を達成したほか、5人が準優勝を果たした。

福見は決勝までを全て一本勝ちして、大木千夏(福岡工業大)を迎えた。開始1分、いきなり相手を倒して技ありを奪うと、そのまま縦四方固めをかけた。完璧に固め、身動きさせないまま25秒、押さえ技一本勝ちをおさめた。

福見の優勝について岡田弘隆監督(体育・助教授)は、「当然だ。本人も同じ気持ちだろう」と語る。福見は今大会を「負けるわけ

にはいかない大会」と位置づけていた。若手のライバルの山岸絵美(三井住友海上)や中村美里(渋谷教育学園渋谷高)が出場しない

大会は「11月の講道館杯への通過点」というのが福見の本音だ。「満足できる試合は一つもなかった。立ち技で一本とれるよう、研究を重ねる」と、あくまで冷静に語った。

2日目、100キロ超級に出場した佐藤尊(同4年)は決勝、立山広喜(国士館大)と対戦、激しく闘志をぶつけ合う試合となった。「冷静に」と双方のベ

卓球

野中、惜しくも2位

全日本学生卓球選手権

大学卓球日本一を決定する第73回全日本学生卓球選手権大会が10月12-15日にかけて兵庫県尼崎市記念公園総合体育館で開催された。本学からは、女子シングルスで野中由紀(体専3年)が2位、伊藤まど(同

3年)が3位に入賞した。野中、伊藤は順当にベスト4を決め準決勝を勝利し、準決勝を迎えた。準決勝は野中、伊藤の本学生同士の戦いとなった。互いに気持を全面に出し、4-2で野中が勝利した。決勝は野中と中央大の渡辺裕子が対戦した。世界大

に11月のインカレ優勝を目指す。個人賞は次の通り。▽最優秀選手賞 櫻田佳恵▽優秀選手賞 有明葵衣▽最優秀監督賞 内山治樹

マッチポイントを迎えた。しかしプエルトリコ代表の3連続得点により24-26で惜しくもセットを奪われた。その後、調子を取り戻したプエルトリコに本学はスパイクをね返され、第2セットを15-25、第3セットを19-25で落とした。

プエルトリコ代表のアウレア・クルス選手は「筑波大生との試合は、世界選手権の情熱や準備、調整の必要性を選手に考えさせてくれた」と語った。

選り抜きの最終戦、予選リーグではフルセットまで持ち込み粘りを見せたが、決勝リーグでは、レンジやトスなどのミスが続き、0-3のストレートで敗れた。中西康己監督(体育・助教授)は「インカレでは一つひとつ丁寧にプレーしていきたい」と語った。

男子は、決勝リーグで東海大と2度対戦するも、初日は1-3、3日目は0-3で敗れた。最終日の順天大戦も、フルセットまで粘るが、2-3で敗れた。3位の順天大とは、セット率わずか0.056差だ

記録ファイル

◆秩父宮賜杯第46回実業団・学生対抗陸上競技大会(10月22日、小田原市宮陸上競技場) 【男子】▽1000m 2位・斎藤仁志 10秒51▽1100m 5位・岸野 10秒51▽1500m 5位・岸野 14秒37▽円盤投げ 50.89(2位) 秋本啓太▽【女子】▽800m 2位・品田貴恵子 1分11秒94▽1000m 5位・金子紗織 14秒00▽4000m 6位・宮崎加奈子 61秒89▽3段跳び 6位・宮地杏美 11尺31寸 砲丸投げ 2位・美濃部貴衣 14尺38寸 3位吉田いずみ 14尺07寸



顔

本学女子バスケット部の持ち味は「スピード」だ。その攻撃と堅い守り。そんな女子バスケット部の試合運びの中で、大きな役割を果たしているのが、ポイントガードの有明葵衣(体専2年)だ。

身長165センチ。決して背が高いわけではないが、自他共に認める切り込み隊長として攻守で活躍している。鈴木あゆみ(同3年)や櫻田佳恵(同4年)がリバウンドをとると、有明が走る。パスを受け、追いつかる相手選手を振り切り、一気に速攻を決める。相手の速攻にはしつこく張り付く。「高さで勝負でき

ない分、平面の動きでかき乱す」と有明は話す。

インカレを観戦。そこで本学のプレーや、チームの明るい雰囲気魅せられ、本学に入学した。有明は自らのポジションであるポイントガードを「試合の流れを握るポジション」と分析する。



女子バスケット部の切り込み隊長 有明葵衣 (体専2年)

を破り、全国4位に食い込んだ。この試合、有明は40得点をあげた。主将になった3年にガードに転向。その後も攻守でチームを支えた。

この頃友人に誘われ、それを印象づける試合が、先日行われた関東女子学生リーグ戦だった。同率首位の拓殖大との試合、本学は、早大戦での敗戦の悪い雰囲気を引きずり、思うように得点

考えているが、「今はチームで大学の頂点に登り詰めることしか考えていない。ちなみに尊敬する選手は、同じ秋田出身で、NBAの田臥勇太。「自分を活かす」つもりで、周りも活かすプレーは、学ぶところが多い」と語る。(本紙・齋藤電太 比較文化学類)

流れを変える鋭い速攻

流れを変える鋭い速攻

本学のオリンピック講座を激励

IOC会長に名誉博士号



表彰を受けるロゲ会長(大会会館国際会議室)

本学が開設するオリンピック講座に対し、激励のメッセージを送るなど継続的な支援をしたとして、本学は10月20日、国際オリンピック委員会(IOC)のジャック・ロゲ会長を招待し、名誉博士号を授与した。授

ロゲ会長が記念講演
本学生ら300人が静聴

本学が開設するオリンピック講座に対し、激励のメッセージを送るなど継続的な支援をしたとして、本学は10月20日、国際オリンピック委員会(IOC)のジャック・ロゲ会長を招待し、名誉博士号を授与した。授

式では、大会会館国際会議室で行われた。その後ロゲ会長は記念講演を行い、学生ら約300人が静聴した。本学が名誉博士号を授与したのは今回が10人目。ジャック・ロゲ会長を招待し、名誉博士号を授与した。授



特別賞を受賞したMCBI(つくばカピオ・ホールで)

3社が特別賞を獲得
本学発ベンチャーが受賞

つくば発ベンチャー企業3社が特別賞を受賞した。本学発ベンチャー3社が特別賞を受賞した。つくば・IT賞に「メディアステック」(本社

に寄与すること語った。また、授与式、記念講演会の後には、総合交流会館でレセプションパーティーが行われた。餅つきイベントで、ロゲ会長が力強く杵を振り下ろすと、周囲から学群のレジャー論研究室の

原点

学生時代の主要な関心は物理に出てくる数学であった。現代物理学の重要な柱が量子力学で、その数学的基礎が関数解析学であり、その土台を築いた一人がスティーヴン・ハッセルという程度のことを知っていたが

古典数学に悪戦苦闘
根気強さ漱石に学ぶ

を讀んだ。数学用語は英語から類推しながら悪戦苦闘するうちに、20ページほどしたらあまり辞書を引かなくても読み進むことができるようになった。しかし、今度は古典的な数学のスタイルに



磯崎 洋

で出でなさい。世の中は根気の前に頭を下げることを知っています。火花の前には一瞬の記憶しか与えてくれません。牛は超然として押しにくいのです。我が意を得たりと思つた。

究生活でも続いた。周囲がどんどん進む中で、一人取り残されるような気が常にしていた。漱石の書簡集を讀んで、こんな一節が出てきた。「我われはとかく馬になりたがる。根気強く

秋の叙勲が11月3日、発表され、本学関係者から4人が受勲した。金子明友名誉教授と田淵武士名誉教授に瑞宝中綬章、大野博孝元

本学から4人が受勲
秋の叙勲
秋の叙勲が11月3日、発表され、本学関係者から4人が受勲した。金子明友名誉教授と田淵武士名誉教授に瑞宝中綬章、大野博孝元

秋の叙勲
秋の叙勲が11月3日、発表され、本学関係者から4人が受勲した。金子明友名誉教授と田淵武士名誉教授に瑞宝中綬章、大野博孝元

第56回吹奏楽団定期演奏会
ノバホールに814人来場
今回で56回目となる吹奏楽団の定期演奏会が11月3日、ノバホールで行われ、814人が来場した。客演

ノバホールに814人来場
今回で56回目となる吹奏楽団の定期演奏会が11月3日、ノバホールで行われ、814人が来場した。客演

ノバホールに814人来場
今回で56回目となる吹奏楽団の定期演奏会が11月3日、ノバホールで行われ、814人が来場した。客演



西尾チヅル

本学は、東京大学で経営戦略論や組織論、マーケティングなどの研究を行っている学者たちが、経営学系の研究を志す学生に向けて書いた本である。タイトルだけを見ると、研究の方法論についての固い本という印象を受けるが、実際は、5人の著者が博士課程の学生であったとき、駆け出しの研究者であった時に、研究テーマとどう出会い、一つの研究としてどう大成させていったかを、赤裸々に語った経験談である。

本書は、東京大学で経営戦略論や組織論、マーケティングなどの研究を行っている学者たちが、経営学系の研究を志す学生に向けて書いた本である。タイトルだけを見ると、研究の方法論についての固い本という印象を受けるが、実際は、5人の著者が博士課程の学生であったとき、駆け出しの研究者であった時に、研究テーマとどう出会い、一つの研究としてどう大成させていったかを、赤裸々に語った経験談である。

研究を志す全ての学生へ
リサーチ・マインド経営学研究法
藤本隆宏編
理論化という一連の研究プロセスが語られており、実証研究の要件、研究の技法や方法論など、経営学や社会科学の研究を行う上で不可欠な基礎的な知識や考え方が、本書の中でコンパクトにまとめられている。このように「世界観」一つ一つでも、著者ごとに着眼点や発想が異なり、各著者独自の「研究者観」が浮き彫りにされていて、非常に興味深い。しかも本書で展開されている議論は、経営学や社会科学といった領域に特化したことではなく、全領域に共通する。よって本書は「経営学研究法」とあるが、私は、研究者を目指す、または研究を志す人々に行おうと思っている全ての人に薦めたい。(有斐閣・2100円)ヒジネ

秋季スポーツ・デー 30周年記念企画を開催

4873人が参加

五輪メダリスト迎え講演



第30回秋季スポーツ・デーが快晴のもと10月21、22の両日、陸上競技場で。

第30回秋季スポーツ・デーが快晴のもと10月21、22の両日、陸上競技場で。

より1545人多い延べ4873人が参加した。正式種目、記念企画、学生企画、サークル企画の4企画があり、各会場ではバレーボール、駅伝などの競技が行われた。スポーツ・デー30周年記念企画「大学生クイズ」は両日、陸上競技場や総合体育館で開催。260人の参加者は3人1組になり、7ラウンドの合計ポイントで競い合った。スポデー委員が工夫を凝らしたルールでは、知力、体力、時の運を兼ね備えていなければ決勝ラウンドへは進めない。○×クイズのほかオリエンテーリングやペーパーテストなどもあった。

山口監督は「スポデーは30周年を迎えた。秋季スポーツ・デーに先立ち9月12日、1日10教室で記念講演会「スポデー改革」が開かれ、ソウル五輪銅メダリストの山口香・前女子柔道部監督(昭和62年度専卒)が講演した。

山口監督は講演で「スポデーの魅力は、身体を動かして、汗を流すことにより自分の肉体を再認識できることだ」と語った。聴講した野々山新さん(人文3年)は「楽しい講演だった。充実した生き方をしていることがわかった」と語った。山口監督は1964年豊島区生まれ。現役時代は全日本体重別選手権10連覇や、第3回世界女子柔道選手権金メダル、ソウル五輪銅メダルなどの偉業を成し遂げた。89年、本学体育研究科修士課程を修了。現在、武蔵大助教授として教壇に立つ傍ら、本学柔道部でも指導にあたる。全日本柔道連盟の女子強化委員として後進の育成に携わっている。

山口監督は講演で「スポデーの魅力は、身体を動かして、汗を流すことにより自分の肉体を再認識できることだ」と語った。聴講した野々山新さん(人文3年)は「楽しい講演だった。充実した生き方をしていることがわかった」と語った。山口監督は1964年豊島区生まれ。現役時代は全日本体重別選手権10連覇や、第3回世界女子柔道選手権金メダル、ソウル五輪銅メダルなどの偉業を成し遂げた。89年、本学体育研究科修士課程を修了。現在、武蔵大助教授として教壇に立つ傍ら、本学柔道部でも指導にあたる。全日本柔道連盟の女子強化委員として後進の育成に携わっている。

山口監督は講演で「スポデーの魅力は、身体を動かして、汗を流すことにより自分の肉体を再認識できることだ」と語った。聴講した野々山新さん(人文3年)は「楽しい講演だった。充実した生き方をしていることがわかった」と語った。山口監督は1964年豊島区生まれ。現役時代は全日本体重別選手権10連覇や、第3回世界女子柔道選手権金メダル、ソウル五輪銅メダルなどの偉業を成し遂げた。89年、本学体育研究科修士課程を修了。現在、武蔵大助教授として教壇に立つ傍ら、本学柔道部でも指導にあたる。全日本柔道連盟の女子強化委員として後進の育成に携わっている。

「自然学類記念誌」作成へ

歴代学類長・卒業生が寄稿

学類改組によって消えてしまふ自然学類の歩みを後世に残そうと、自然学類の学生たちが「自然学類記念誌」を作成している。1月の完成を目標に現在、編集作業を進めている。

代学類長全貴や名物先生に寄稿してもらったり、昔のキャンパスの様子を写した写真や各専攻の人数比、卒業生の進路の経歴なども掲載する。アカペラコーラスグループ「RAGFAIR」の奥村政佳さん(平成13年度自然学類卒)などの

有名な卒業生にも寄稿してもらった。記念誌は現役自然学類生全員に配布する他、原稿の執筆を依頼したOB・OGにも郵送する。現役の学類生には研究室やクラスを通じて配布する。製作費用は学類から援助を受けた。

自然学類は、07年度に行われる学群改組で数学類、物理学類、化学類、地球学類に改組される。地球学類は生命環境学群に、他の3学類は理工学群に組み入れられる。

記念誌を製作しているのは、熊谷現さん(自然3年)ら19人だ。熊谷さんは「自然学類がなくなってしまう



鍋パーティー
お鍋は計画的に
お鍋は計画的に

「防犯意識を高めて」
大学周辺で、性犯罪などの被害が後を絶たない。だが、午前0時を過ぎているのに、女性一人で帰宅するなど、不用心な本学生は少なくない。

「女性専用で、友達も多々住んでいたから安心してきつていた」とAさん。午前4時ごろ目が覚めると、ストッキングを被った男が、自分に覆いかぶさるように目の前にいた。カーテンのひもで口を押さえ付けられ、首も締め付けられた。足で蹴るなど必死に抵抗し、なんとか男を突き放した。大声出すと言った男は玄関のドアから逃げていったという。

この原稿の締め切りは11月1日。中間発表とは異なり、最終的な期限まで2カ月程度の猶予しかないことになる。つまり中間発表の段階で、ある程度論文を形にしておく必要があるということだ。そんなわけで、大学の研究室に詰めながら、発表準備の間を縫って原稿を書いている。

車椅子から

忙しい日々疲れと充実感

大学新聞で過ごしてきた時間を振り返ると、卒業研究に役立つことばかりだった。取材の経験が調査能力の向上に直結するのはもちろん、編集中心のほとんど徹夜に近い作業は集中力を養ってくれた。先輩方にやられたのも多少の失敗でへこたれない忍耐力につながっているのだろう。実は3年生の1時期体調を崩し、早めの引退を考えたこともあった。だが、あのとき思いとどまった自分がいたことで、現在の自分が助けられている。

忙しい日々疲れと充実感
現在の時間は10月31日22時15分。中間発表の開始まで11時間余りだ。体力を充分なものにして、これまで資料作りに傾けた力に報いられるよう、そろそろ休もうと思う。あわただしい文章だが、今回はひとまずここで筆を置きた。

(図書館情報専門学群)

学生宿舎入居者募集

12月7・8日に抽選

在校生を対象とした学生宿舎の来年度入居者の募集が始まっている。一般単身用個室の募集告知は、各宿舎の共用棟と支援室に11月16日から掲示さ

来年1月10日から掲示され、申し込みは同月17日から19日まで平砂共用棟管理事務所で受け付ける。23日に抽選を行う予定だ。その他、一の矢南新単身用個室、春日単身用個室一の矢31・33号棟・単身用個室の募集については掲示参照のこと。

フォトコンテスト

テーマは「筑波大学」

学生向け広報誌「STU」を写したものであれば「DENTS」がフォトコンテストを行う。募集する写真のテーマは「筑波大学」。学内行事やサークル活動、学内の自然など、「筑波大」に写すことを歓迎する。応募締め切りは12月6日。応募は、学内事務課(学内事務課)に送る。応募は、学内事務課(学内事務課)に送る。

映画「夜のピクニック」に出演 谷口能彦さん(生資4年)



二学講堂で思い出を語る谷口能彦

約1000人の高校生が二日間、60分道のりを歩いた。谷口能彦さんは、この映画「夜のピクニック」に出演した。谷口能彦さんは、この映画「夜のピクニック」に出演した。谷口能彦さんは、この映画「夜のピクニック」に出演した。

歩いて深めた仲間の絆 経験生かし現場指導も 炎天下の中、ひたすら歩く場面の撮影が続いた。他のエキストラたちは、約850人のエキストラをまとめるボランティアスタッフとして現場に行った。交通の便を考え、撮影期間中、水戸にアパートを借りた。

「もともと、全国の人が『歩く』を知ってほしい」と谷口さん。来年5月、エキストラのオーディションに応募するうちに恋愛の事や将来の夢など、普段言えないこと

奨学金返還説明会

12月13日に開催

日本学生支援機構奨学金の返還説明会が12月13日午後3時から4時半まで、大学会館講堂で開催される。来年3月に満期を迎える学生と大学院の奨学生が対象となる。当日は返還に関する手続きなどについて説明を行うため、各支援室の学生支援

新人記者募集

筑波大学新聞では、新人部員を募集しております。お気軽に覗きにきてください。有名に取材してみたい、マスコミに興味がある、文章を書くのが好き、普通のサークルじゃ物足りない、人とは違う大学生活を送りたい、パソコンなどの技術を生かした仕事がしたい

次号は12月11日(月)発行予定です

筑波野生動物鑑



オオクチバス

学内久保池にて釣り上げられたもの。北アメリカ原産日本には食用、釣りの対象として持ち込まれたとされる。全国の湖、沼などの止水環境や流れの穏やかな河川に生息しており、強い魚食性を持つ。現在特定外来生物に指定されており、飼育や放流は法律により規制されている。(写真・文)山田啓介、生物資源学類2年・野生動物研究会

催事

展示会

◆22回筑波大学大学院修士課程芸術研究科作品展(MC展) 11月14日から19日まで(つばは美術館)つばは市吾妻)で開催される。開館時間は午前9時半から午後5時まで。最終日は午後4時まで、入場は同3時半まで。

音楽会

◆混声合唱団第31回定期演奏会 12月16日、ノボホールで。午後1時半開場午後2時開演。

講演会

◆「防犯・安全運転講習 教授(体育)。

大学会館書籍部ベストセラー

Table with 2 columns: Rank and Book Title/Author. 1. 手紙 東野圭吾/文芸春秋, 2. 邪魅の雫 京極夏彦/講談社, 3. 下流喰い 順田慎一郎/筑摩書房, 4. 愛国の作法 姜尚中/朝日新聞社, 5. 風味絶佳 山田詠美/文芸春秋, 6. 天使の梯子 村山由佳/集英社, 7. 永遠。 村山由佳/講談社, 8. 若者はなぜ3年で辞めるのか? 城繁幸/光文社, 9. 鏡の法則 野口喜則/総合法令出版, 10. 子育てハッピーアドバイス(3) 明橋大二/1万年堂出版

10月の1位は、東野圭吾の「手紙」。8位は城繁幸の「若者はなぜ3年で辞めるのか?」。仕事が終わらない。努力して成果をあげても、一向に報われない。やらされるのはいつまでも単純な作業だけ。「3年で3割辞める」といわれる新卒離職率。心の病を抱える30代社員の急増、ニート、フリーター問題……。現代の若者が感じる閉塞感の原因に迫る。催事は手帳カレンダーフェア(10%オフ)